

2026 年度期首運営会議を開催しました

Information

2026 年 7 月 16 日、2026 年度期首運営会議を鹿島建設株式会社の大会議室ならびに WEB のハイブリッド形式にて開催し、当日は、経済産業省、国土交通省および NEDO からのご来賓を含め、会場 100 名、WEB111 名、合計 211 名が参加いたしました。

本会議では、各分科会で取り組んでいるテーマの進捗状況・成果やステージゲートに向けた対応、事業戦略ビジョンの報告を確認し、活発な意見交換が行われました。

ご来賓の方々からは、今後の課題として「技術の確立」「コスト低減」「マーケット・社会への流通」の 3 点が示され、技術面では前半 5 年間の取り組みにより着実な進捗がある一方、コスト低減と市場形成は引き続き重要課題であるとのことご指摘をいただきました。あわせて、コンクリートへの CO₂ 固定量測定に関する JIS 制定は、環境配慮型・グリーンコンクリートの環境価値を可視化するうえで重要であるとの認識が示されました。

また、国土交通省からのご参加を得たことは、公共工事における CO₂ 吸収・固定化コンクリートの段階的採用、政府調達での優先的調達、国直轄工事や自治体工事への展開可能性を確認する重要な機会となりました。さらに、国内に加えてアジアを含む海外市場も視野に入れ、国際標準化とあわせて本プロジェクトの技術を展開していくことへの期待が寄せられました。

加えて、本事業は日本が取り組むカーボンネガティブコンクリート技術として、国際的に発信すべき重要な成果であるとのこと言葉を頂戴しました。NEDO のグリーンイノベーション基金事業に採択されてから 5 年目を迎え、ステージゲート突破に向けたさらなる技術開発と社会実装の実現に取り組むことを改めて確認し、盛会のうちに終了いたしました。

なお次回は、10 月 6 日に 2026 年度期央運営会議を予定しております。



期首運営会議後の集合写真